

フラワーフレンドリーシティ(花による都市交流)

花による他市との交流については、03年12月あしがら花紀行千津島地区実行委員会と東京都羽村市が、酔芙蓉の増殖用の枝の提供をきっかけに交流を始め、市長同士が面会を重ね、防災協定が結ばれるなど発展してきました。

市内の農家グループ「あしがらユートピア」では、都市住民との交流を進める一方、地域に花や花木の苗などを無償提供し、地域全体が同じ季節に同じ花の咲く「花の理想郷」をスローガンに掲げた活動をしています。

また、本市農業委員会による09年9月施行の「市民農業者制度」などの新たな農業参入システムと花による地域おこし「花トピア」(あしがら花紀行&フラワーユートピア構想)をセットにした視察や講演依頼が全国からあり、その件数は140件にのぼっています。

この視察や講演では、遊休農地を花のエリアに変え、花と農業による経済振興と経済基盤の確立をするための具体的な手法を説明しています。今後、この手法を取り入れたいと希望する市町村や団体が、あしがらユートピア農園を彩るメインの花である「春めき」(ソメイヨシノより一足早く咲く桜)や「まる菊」(ざる菊やボサ菊、小菊など円い形に咲くタイプの菊)などをあしがらユートピアなどから無償提供を受ける時、その依頼文に**南足柄市と花による交流をしたい旨の一文**を加えてもらうことにより、羽村市とのような交流の全国的な拡大を図りたいと考えています。これらの交流を名付けて**フラワーフレンドリーシティ**としました。

市町村の交流を、まず、花から始めるという肩ひじの張らない取り組みです。そして、フラワーフレンドリーシティの取り組みは、あしがらユートピアの活動を行政と連携が図られた全国をフィールドにした「花の理想郷」づくりへとステップアップさせるものです。

全国各地の市町村からの肩ひじの張らないお付き合いをお待ちしています。南足柄市



3月中旬に咲く「春めき」



満開の「ざる菊」